

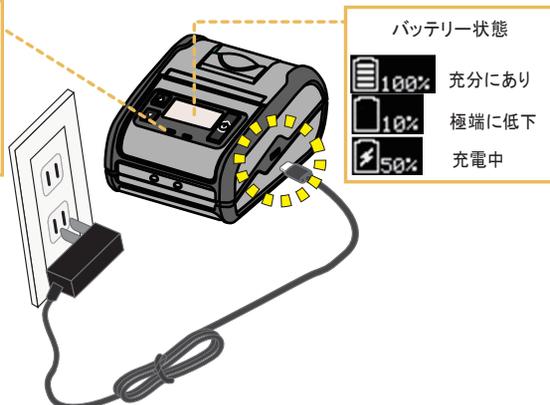
## 【プリンターバッテリーの充電】

赤ランプ  
充電中



緑ランプ  
充電終了



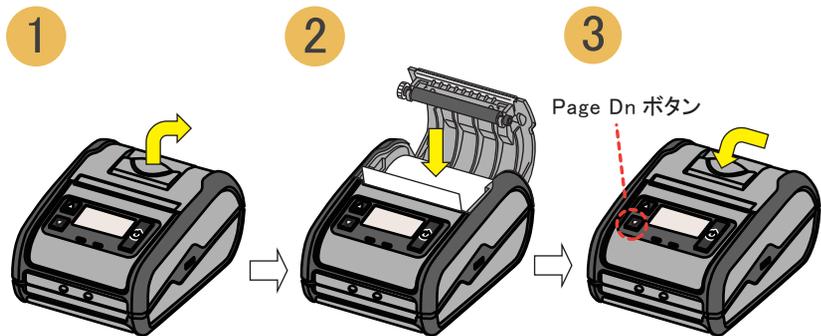


バッテリー状態

100%	充分にあり
10%	極端に低下
50%	充電中

プリンターにバッテリーを取り付け、付属の AC アダプタをプリンターに接続し、コンセントに差し込みます。  
通常、バッテリーの充電には 4 ~ 5 時間程度かかります。

## 【プリンター用紙の補給】



1

2

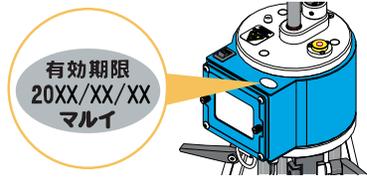
3

Page Dn ボタン

- ① オープンレバーを上引っ張りペーパーカバーを開きます。
- ② 用紙を図の向きにセットします。(紙の表裏が反対ですと印字しません。)
- ③ ペーパーカバーを閉じます。
- ④ Page Dn ボタンを押下してください。

## 【その他の注意事項】

- キャスポルは 2 年に一度、メーカー検定を受ける必要があります。検定期限は本体（三脚部）に記載しています（アプリ測定画面の右上にも表示されています）。



- 軟弱地盤（Ia 値が 5 以下）や硬い地盤（Ia 値が 50 以上）で測定すると、機体が破損する可能性がありますので、事前に地盤の確認が必要です。
- キャスポル本体は防滴構造になっておりますが、完全防水ではありません。豪雨での使用や水没をさせたりしないでください。水が付着した場合は、すみやかに乾いたやわらかい布でふき取ってください。
- 本体（三脚部）をケースに格納する際は、砂などの汚れを落とし、固定ピンをランマーに差し込みランマーを固定（ボールが見えるまで押し込む）してください。

# 【よくあるご質問】

**Q1** キャスポルはどんな地盤でも使用できますか？

**A1** キャスポルの適用できる地盤条件や、使用範囲は決まっています。

適用条件は下記の通りです。

- 最大粒径が 37.5 mm 以下で 10 mm 以上の礫含有率が 30% 未満の土質材料
- 地盤支持力度が 294.3kN/ m<sup>2</sup> 以下の構造物(高さ 5m 以下の各種擁壁、ボックスカルバート等) 工事における支持力度算定
- 道路工事における路床の CBR 値および地盤反力係数の算定

なお、軟岩での測定はできません。

**Q2** 何度測定しても、Ia 値が「5」程度しか表示されませんか。

**A2** ランマーを落下させる時、測定レバーを「ゆっくり」作動させていませんか？

測定レバーが加速度測定を開始するスイッチの役目をしていきますので、ゆっくり作動させると、時間内にランマーが落下しないため、正しく測定できません。

速やかにレバーを動かしてください。

**Q5** 砂質土か粘性土か分かりません。支持力はどう計算すればいいですか？

**A5** 砂質土の式と粘性土の式を両方を計算し、施工主様にご相談ください。

測定した地盤が砂質土か粘性土か判断できない場合は、砂質土の式、粘性土の式を両方計算してください。

どちらの計算値を採用されるかは、施工主様とご相談の上、ご判断ください。

**Q3** 印刷ボタンを押しても、何も印字されませんか。

**A3** 下記の 5 点を確認してください。

- ① プリンターの電源は入っていますか？
- ② プリンター液晶画面の下、右側のランプが緑色に点灯していますか。点灯していない場合は、プリンターの電源を入れてください。
- ③ プリンター液晶画面でバッテリー残量を確認してください。バッテリー残量が低下している場合は、バッテリーを充電してください。
- ④ プリンターの POWER (電源) ボタンを押して、液晶画面を表示させてください。液晶画面に『Printer Ready Standby』と表示されていますか？表示していない場合はバッテリー残量の確認をしてください。
- ⑤ タブレットの印刷ボタンを押した時に、プリンターの液晶画面に『Printer Ready Receiving』が表示されますか？『Printer Ready Receiving』が表示されない場合は、タブレットのプリンターを近づけてから、再度タブレットの印刷ボタンを押してください。

**Q4** 印刷ボタンを押しても、何も印字されずに紙が出てきます。

**A4** 下記の 2 点を確認してください。

- ① 用紙が逆向きに入っていませんか？
- ② 弊社指定記録紙または市販のサーマル紙をご使用されていますか？ (普通紙には印字できません)